



地域創生 Tech Program

理工学の知で地域課題を解決する



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

※本プログラムの概要等は予定であり、今後変更になる場合があります。

京都北部・北近畿を舞台とした 課題解決型理工系人材育成プログラム

京都工芸繊維大学は、2016年4月から、グローバルな視野を持って工学・科学技術により地域の課題を解決できる国際高度専門技術者を育成するため「地域創生Tech Program」を、学部共通プログラムとして開設します。現在、私たちが地域や社会で直面している様々な課題は、限られた専門分野だけで解決できるものではありません。理工学を含めた総合的な視点で、多分野の人材が相互に協働して解決に向けて取り組んでいく必要があります。本プログラムでは、各自が工芸科学部に設置された教育プログラムによって、教養や専門基礎を身に付けます。さらに京都府北部や北近畿をフィールドとして、地域課題をテーマとした学習やインターンシップによる多様な実践的体験を積み重ねます。これらの経験を経て、各自の専門力を生かした課題解決型プロジェクトを実践することで卒業に到るプログラムです。

3つのコース

地域創生Tech Programには次の3つのコースがあります。学生はいずれかのコースに所属し、1年次から3年次前期まで各課程の学生と一緒に教育プログラムを履修するとともに、このプログラムの学生が特別に受講する地域志向科目を履修します。

コース名	関連する課程	ねらい
バイオ・材料化学 コース	応用生物学課程 生体分子応用化学課程 高分子機能工学課程 物質工学課程	生物科学・生化学を基盤としたバイオ技術により、特に生物由来の材料による医薬品、食品、化粧品などのヘルス産業、繊維産業に貢献できる人材を育成する。また、物質化学を基盤とした新材料開発や複合材料開発に携わる人材を育成する。
メカトロニクス設計 コース	電子システム工学課程 情報工学課程 機械工学課程 デザイン経営工学課程	ものづくり工学の基幹となる専門を基盤とし、21世紀のひとのみらいを豊かにする機械の開発やシステム構築、新エネルギー開発やパワーエレクトロニクスを担える人材を育成する。また、そうしたものづくりをプロデュースできる人材を育成する。
デザイン・建築 コース	デザイン・建築学課程	デザインスキルを身につけ、商品・製品価値を高め、ブランド形成を具現化できる人材を育成する。また、歴史的景観や自然環境を活かしつつ、地震や風水害にも強いまちづくりを担い、そこで生活する人々のくらしを豊かに彩るとともに、観光産業にも寄与できるデザインのできる人材を育成する。

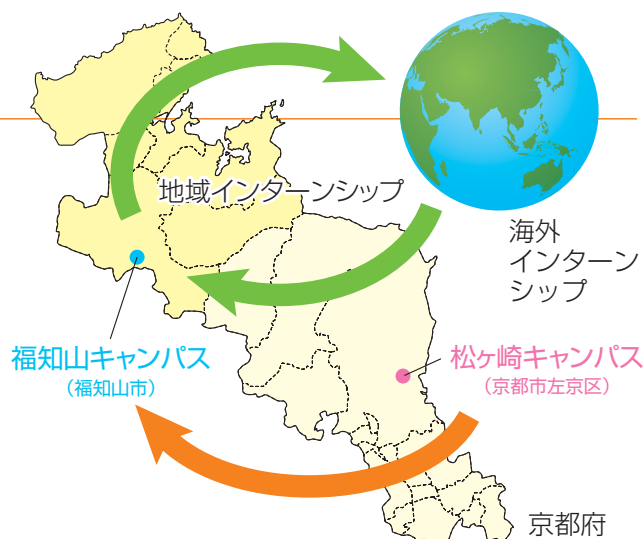
文部科学省事業採択大学

京都工芸繊維大学は文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」及び「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(大学COC事業)」に採択され、グローバル化と地域貢献の両方に取り組んでいます。



松ヶ崎キャンパスと福知山キャンパス

地域創生Tech Programでは、1年次から3年次前期までは主に京都市の松ヶ崎キャンパスで、3年次後期から4年次は福知山キャンパスで学習を行います。松ヶ崎キャンパスでは同じ課程に所属する他の学生とともに授業科目を履修し、専門基礎力を身に付けます。福知山キャンパスでは地域課題解決型学習（PBL）や地元企業・海外でのインターンシップを中心に、実践的・能動的な学習に取り組みます。



カリキュラム

年次	1年次		2年次		3年次			4年次				
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後3Q	後4Q	前1Q	前2Q	後3Q	後4Q	
地域創生Tech Program	松ヶ崎キャンパス				福知山キャンパス							
	京の伝統文化と先端（地域志向科目）【選択必修】・教養科目（三大学共同科目等）・言語科目（英語鍛上げ）				3コースの学生が協働して地域課題解決							
	地域課題導入PBL 基盤専門導入科目		知財系科目 アントレプレナー科目		地域創生課題セミナーⅠ (地域PBL)		地域創生課題セミナーⅡ (理工学PBL)					
	バイオ・材料化学コース (応用生物、生体分子、高分子、物質工学に関する専門科目)					ものづくりインターンシップⅠ		ものづくりインターンシップⅡ				
	メカトロニクス設計コース (電子、情報工学、機械工学、デザイン経営工学に関する専門科目)					専門を深化させる講義・専門の幅を拡げる講義	専門の幅を拡げる講義	課題解決型プロジェクトによる卒業認定				
デザイン・建築コース (デザイン、建築に関する専門科目)					繊維・複合材料に関する講義	複合材料ものづくり実験						

定員・入試日程

入学定員30名

ダビンチ (AO) 入試

募集人員：20名
 (一般枠5名、地域枠12名、社会人枠3名)
出願：9月24日～10月1日
 第1次選考：10月31日
 最終選考：11月28・29日
 最終合格発表：12月10日

地域枠：福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町に所在する高等学校の卒業又は卒業見込みの人が出願可

一般入試

募集人員：10名 (前期8名、後期2名)
出願：1月25日～2月3日
 前期試験日：2月25・26日
 後期試験日：3月12日
 合格発表(前期)：3月8日
 合格発表(後期)：3月23日

大学入試センター試験＋個別学力検査

※詳しい定員設定は学生募集要項をご確認ください



Q 福知山キャンパスでは、松ヶ崎キャンパスと同様の教育体制がとられているのですか？

A 福知山キャンパスには専任教員を配置し、松ヶ崎キャンパスの教員とも連携することで、どちらのキャンパスで学んでも十分な教育を受けられる環境が準備されます。また、実験設備等の教育設備についても、福知山キャンパスが本格的に稼働する2018年度までに整備を完了する予定です。

Q 学費はいくらですか？

A 一般の課程と同じく、入学金282,000円、授業料年額535,800円です。

Q 地域創生Tech Program固有の奨学金制度はありますか。

A このプログラム固有の奨学金制度はありませんが、京都府北部や北近畿の企業等から奨学金を提供してもらうことを予定しています。

Q このプログラムを卒業すれば地域の有力な企業に就職できるのですか？

A 特定の企業への就職を確約することはできませんが、インターンシップや地域課題PBLにより密接に企業と連携するので、その中でしっかりと成果を出せばいい結果に近づくことができるでしょう。

Q 卒業後は北部の企業に就職しなければならないのですか？

A 就職先を北部に限定するものではありません。

Q 教職免許や建築士などの資格は取得できますか？

A 取得が可能となる予定です。詳しくは学生募集要項をご確認ください。

Q 大学院への進学は可能ですか？

A 本プログラム卒業後、各専攻の大学院入試に合格すれば大学院への進学は可能です。

Q 福知山での住居はどうなりますか？

A 大学所有の寮はありません。大学が提携する民間業者を紹介します。

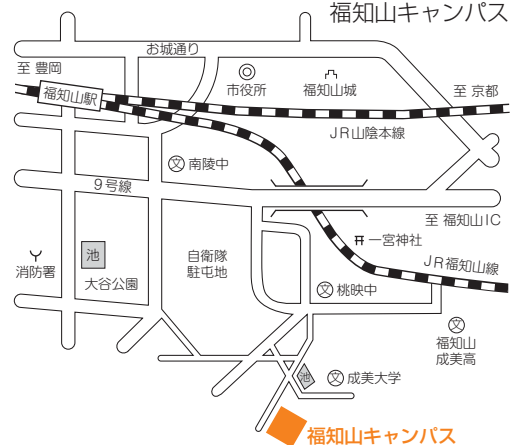
Q 福知山キャンパスと松ヶ崎キャンパスの送迎バスはありますか？

A 送迎バスはありません。JR等で移動していただくこととなります。

松ヶ崎キャンパス



福知山キャンパス



※福知山キャンパスは旧福知山女子高等学校跡地（京都府福知山市字堀3385）を予定地として整備計画中であり、地域創生Tech Programの1期生が3年次になる2018年度までに整備完了予定です。

お問い合わせ

入試に関すること 入試課学部入試係

TEL : 075-724-7164 FAX : 075-724-7160 Email : nyushi@kit.ac.jp

その他地域創生Tech Programに関すること 企画課広報室広報係

TEL : 075-724-7016 FAX : 075-724-7029 Email : koho@jim.kit.ac.jp